

## 【令和元年5月】

### 地域を支える仕組みづくり

#### 高倉地区のコーディネーターが「生活の困りごと」把握に取り組んでいます

令和元年5月23日（木曜日）午前10時から北引田地区公会堂（古川高倉）にて生活の困りごと把握を行うために生活支援コーディネーター、民生委員、保健推進員が連携して高倉地区の住民約20人が集まりました。

これまでワークショップを開催して意見が多かった、生活課題を解決するための有償ボランティアを立ち上げるために「まずは地域の生活の困りごとを把握したい」という思いから始めっており、さまざまな関係者と連携して取り組みを進めています。

参加者からは「書いて意見を言うよりも、カードになっているから分かりやすい。」「地区のことをもっと良くしたい。この問題にはどんな解決策があるかな。」という意見が出されました。



#### 宮沢地区ではさまざまな関係者が連携して「生活の困りごと」を把握しています

令和元年5月31日（金曜日）午前10時から宮沢地区の上・下桜ノ目地区にて、保健推進員主催の「ふれあい昼食会」と一緒に、地区の民生委員が連携して「生活の困りごと」を把握しました。

宮沢地区では、把握した「生活の困りごと」を次年度の計画に反映していきたいと考えて取り組んでいます。まだ始まったばかりですが、これまでのそれぞれの活動を見直すために宮沢地区では動き始めております。

## 医療と介護の連携

### 令和元年度第 1 回ふらっといしかいサロンがオープンしました

令和元年 5 月 9 日（木曜日）午前 10 時から大崎市図書館にて第 2 回目の「ふらっといしかいサロン」をオープンし、32 人の来所がありました。

このサロンは、地域の方々が病気や健康管理のことについて「ちょっと聞いてみたいこと」を医師や看護師等に気軽に相談できる場になっています。午後 1 時 30 分から医師によるミニ講座では、富樫クリニック 院長 富樫 孝氏による「糖尿病のお話」が行われました。会場には医療介護資源情報コーナーや、ミニ図書館（糖尿病、糖質オフの関連図書）も設置しております。

### 福祉施設百才館において園内研修を行いました

令和元年 5 月 22 日（水曜日）午後 5 時 30 分から福祉施設百才館にて、医療・介護関係者職員の研修会が開催され大崎市在宅医療介護連携支援センターと民生部社会福祉課地域包括ケア推進室が講師となり「人生会議：ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」についての講話を行いました。

大崎市では「住み慣れた自宅（住まい）で過ごしたいが叶う大崎市」を目指し、在宅医療・介護連携を推進しています。参加者からは「大変参考になった」「お話が具体的でわかりやすかった」「自らの思いを通して利用者様によりそうとはどういうことか学び共有したい」「利用者さんにさりげなく聞いてみたい」という感想がありました。

### 令和元年度第 1 回自立支援型地域ケア会議が行われました

令和元年 5 月 23 日（木曜日）大崎市役所北会議室 2 階で高齢者の QOL（人生の内容の質や社会的にみた生活の質）の向上、要支援者の生活行為の課題の解決等、状態の改善に導き、自立を促すための自立支援型地域ケア会議を開催しました。

今年度から大崎市第 1 層生活支援コーディネーターが参加し、事例から地域課題の把握を行い、地域自治組織に配置されている第 2 層の生活支援コーディネーターと共有して解決策の検討を行っていきます。



## 令和元年度第 1 回医学講座が開催されました

令和元年 5 月 28 日(火曜日)午後 6 時 30 分から大崎市図書館にて大崎市医師会主催による「今だから学びたい介護事業所向け医学講座」が開催され、市内の介護事業所に勤めるケアマネジャー等 61 人が参加しました。今回は富樫クリニック 院長 富樫孝 医師が講師となり「糖尿病」についての講座が行われました。

大崎市医師会では、介護に従事する職員が、医学的な知識と健康管理のポイントを学ぶことで高齢者等が安心な療養生活を行うことができるよう、今年度も毎月第 3 火曜日午後 6 時 30 分から大崎市図書館にて医学講座を開講していきます。